

- 開館時間 9:00～17:15 (入館は16:45まで)
 ●休館日 原則として、月曜日、祝日、年末年始
 ◆プラネタリウム臨時休演 6月10日(火)、11日(水)、7月8日(火)～10日(木)
 ◆全天周映画臨時休演 6月10日(火)、11日(水)
 ◆科学展示室はリニューアル工事のため、平成20年3月21日(金)まで休館いたします。
 (プラネタリウム・全天周映画は通常通り上映)

●入場料

区 分 / 金 額	個 人	団 体 (20人以上)
科学展示室	おとな	400円
	こども (小・中学生、高校生)	320円
プラネタリウム	おとな	100円
	こども (小・中学生、高校生)	80円
全天周映画	おとな	400円
	こども (小・中学生、高校生)	320円
プラネタリウム + 全天周映画	おとな	200円
	こども (小・中学生、高校生)	160円
プラネタリウム + 全天周映画	おとな	600円
	こども (小・中学生、高校生)	480円
プラネタリウム + 全天周映画	おとな	300円
	こども (小・中学生、高校生)	240円

※幼児は無料 (ただし大人の保護者同伴のこと)

●宇宙劇場放映開始時刻

曜日/時刻	10:00	11:10	12:20	13:30	14:40	15:50
火～金	学習放映 (団体予約優先)	学習放映 (団体予約優先)		学習放映 (団体予約優先)	全天周映画	プラネタリウム
土・日 春・夏・冬休み	全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム

- ◆定員210名、各回入れ替え制。放映中の入退場はご遠慮ください。
 ◆学習放映は(学校)団体予約優先の放映です。団体でご利用の場合は、あらかじめ
 お電話にてご予約ください。

【宇宙劇場】

ドーム直径21m、床傾斜25度、210座席。
 プラネタリウムと全天周映画の設備を併せ持つ、
 中国地方でも最大級の科学シアターです。



宇宙劇場 ★ プラネタリウム

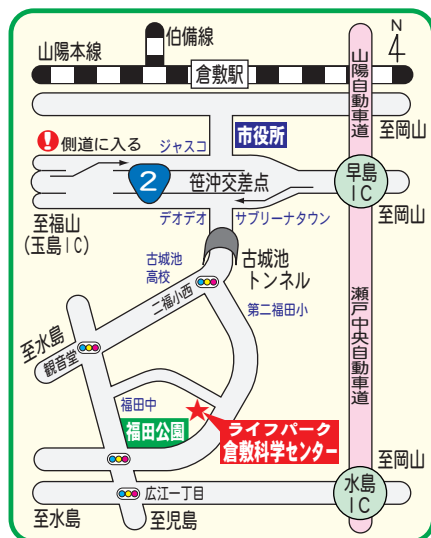
PLANETARIUM

放映の話題 (今夜の星空解説含む)

探査機「かぐや」月の謎にせまる

～月上空100kmからのながめ～

VOL.46 2008.2.29～2008.7.6

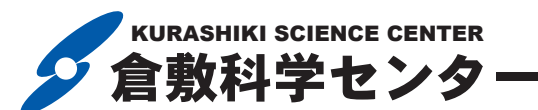


ACCESS

- ◆JR倉敷駅からタクシー 25分
 ◆JR倉敷駅からバス 25分
 ○下電バス
 ・『市役所・古城池経由JR児島駅行』
 ライフパーク倉敷入口下車・徒歩5分
 ・『大高経由JR児島駅行』
 福田中学校前下車・徒歩20分
 ◆国道2号線 笹沖交差点から車で15分
 (古城池トンネルを抜けて最初の信号を左折)
 ◆瀬戸中央自動車道 水島ICから車で10分
 (広江一丁目交差点を右折後、最初の信号を右折)

倉敷科学センター

〒712-8046 倉敷市福田町古新田940 ライフパーク倉敷内
 TEL (086) 454-0300 / FAX (086) 454-0304
<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/lifepark/ksc/>

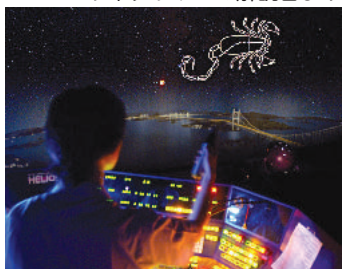


「今夜の星空」の解説

天文学の専門家による星空生解説。その日に見える星空をご紹介しますので、台本は一切なし。星空に合わせて話題も毎日変わります。

星座のさがし方から、おすすめ天文現象まで、ドームの下での星空散歩をお楽しみください。

プラネタリウムの解説台より

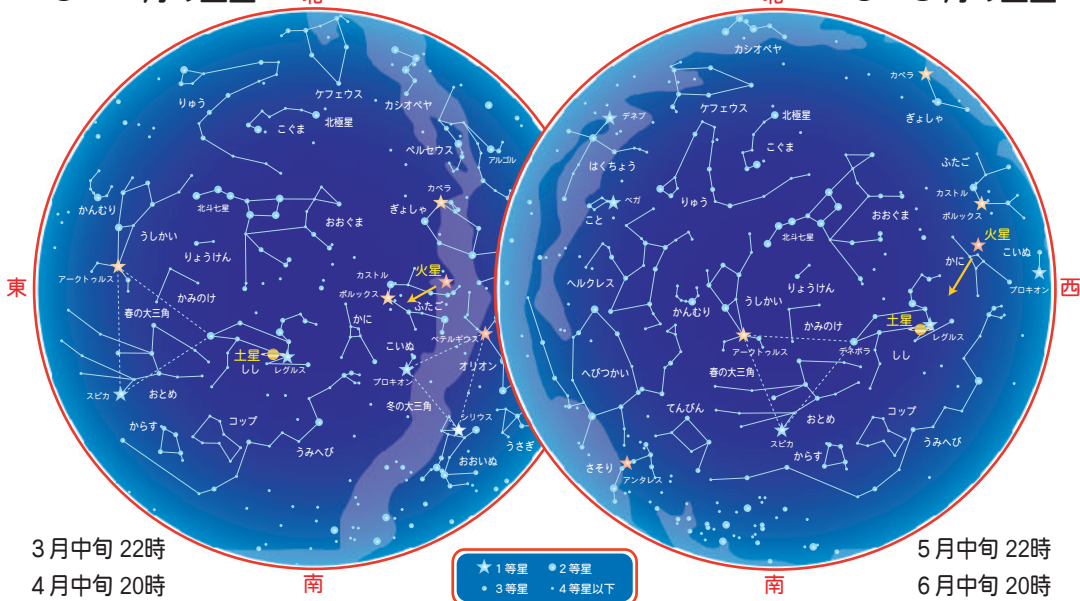


3-4月の星空

北

5-6月の星空

北



3月中旬 22時

4月中旬 20時

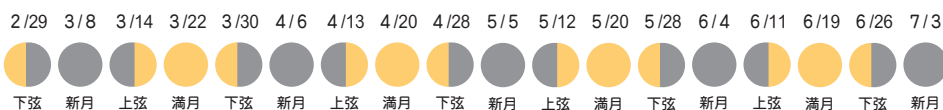
5月中旬 22時

6月中旬 20時

観測ガイド

- 3月17日～18日 = かに座のプレセペ星団 (M44) が月に隠される。
- 5月 6日明け方 = みずがめ座 η 流星群が極大。条件最良。
- 5月14日 = 水星が東方最大離角。夕方の西空で観測の好機。
- 5月20日 = 今年最も小さな満月が見える。12月13日の満月と比べて12%小さい。
- 5月23日 = 火星がかに座のプレセペ星団 (M44) の中を通過する。

月の満ち欠け



探査機「かぐや」月の謎にせまる

～月上空100 kmからのながめ～

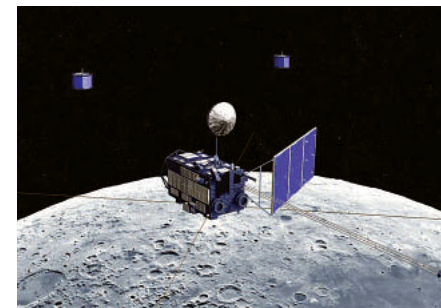
上映期間 / 2月29日(金)～7月6日(日)

地球から38万キロかなたに浮かぶ、とてもなじみ深い天体、月。しかし、39年前のアポロ計画以来、本格的な月探査は行われず、科学的にみれば月は今も謎に満ちた天体なのです。

そこで近年、各国は新時代の月探査に向けて動き出しています。

昨年9月に打ち上げられた日本の探査機『かぐや』は、まさにその幕開けとなるものでした。

かぐやは月の上空100キロをまわりながら、約1年をかけて月全体をくまなく観測し、月の成り立ちや、誕生の謎が解き明かれることが期待されています。



月探査機「かぐや (SELENE)」

また、かぐやが搭載するハイビジョンカメラは、月の地平線から

ナレーション 引田 有美 (アーツビジョン)
森川 智之 (アーツビジョン)

録音スタジオ 株式会社エス・シー・アライアンス
メディアエンターテインメント社
ミキサー 前島 慶太 選曲 山内 悟
アシスタント 吉田 直恵

脚本・演出 三島 和久 (倉敷科学センター)
企画 倉敷科学センター
製作 (株)五藤光学研究所

上ってくる地球の出もとらえました。私たちに驚きと感動を与えてくれる日本の月探査機、月上空100kmで活躍する「かぐや」の旅をご紹介します。

次回のプラネタリウム新番組は 7/11(金) よりスタートです。